

レクチャー4 15:30-16:10 (第1 Zoom 会場)

対立するのは悪いこと？良いこと？

○ 徳増一樹（岡山大学病院 総合内科・総合診療科）

「同期の研修医とウマが合わないんです。ローテーションは一緒に同じ科は無理です。当直も一緒にしたくないです。」「回っている科のチームリーダーの要求がきつすぎてついていけません。どうしたらいいですか？」「病棟の看護師さんと関係がうまくいかないんです。忙しいと対応にイライラしてまいります。」

チーフレジデントとして、研修医を取り巻く人間関係トラブルに対応することはよくあります。このレクチャーの目的は、対立をより良く解釈することです。それにより、解決に導けることもあります。対立を事前に避ける対応策を考えるヒントにもなります。レクチャーの対象は、実際に対立に巻き込まれている人、対立関係を将来的に調整する可能性がある人、対立の中身について興味がある人です。

対立を解釈するとき、競争、協調、妥協、回避、受容という5つの態度から対立することの中身、そして対応方法を考えることができます。このレクチャーでは、それらについて具体例を用いながら解説していきます。

長崎一哉（岡山大学病院 総合内科・総合診療科、JACRA 世話人）

愛媛県西条市出身。沖縄県立中部病院で初期・後期研修を行い最後の年は同病院チーフレジデント。2018年より大学勤務となり、研修医指導、学生指導に勤しむ。主に質的研究の手法を用い、教育研究にも着手。